

報道関係各位

2016年3月3日  
森ビル株式会社

表参道ヒルズ開業10周年特別展

## 蜷川実花写真展 FASHION EXCLUSIVE

～ 4月23日(土)から5月8日(日)まで開催 ～

表参道ヒルズでは、開業10周年の特別展として、4月23日(土)から5月8日(日)までのゴールデンウィーク期間中、本館 B3F スペース オーにて、日本を代表するフォトグラファー蜷川実花による初のファッションフォト写真展「FASHION EXCLUSIVE(ファッション・エクスクルーシヴ)」を開催します。

美しく鮮やかな色彩で創り上げられた世界観と、トレンドを先取りする嗅覚で、今や時代の顔となった蜷川実花。これまで様々なテーマや人物を取り上げてきた蜷川実花ですが、「ファッション」に特化した写真展を開催するのは、今回が初めてとなります。ファッション・エクスクルーシヴというタイトルには、ファッションというジャンルを特別に選び、蜷川実花ならではの感性で「FASHION(ファッション)」の捉え方を示す、という意味が込められています。世界的な一流メゾンの服が常に時代を牽引しているように、ファッションとは敏感に時を写す鏡です。そのファッションが、突き抜けた個性を持つ「俳優・モデル=STAR」との融合により一層輝きを増し、蜷川ワールドを艶やかに彩ります。

本展では、今を輝くスターたちによるファッションの対話・約85点をダイナミックに展示し、会場でしか購入できないオリジナルグッズも販売。会期中には、蜷川実花と豪華ゲストによるトークショーも開催します。蜷川実花の新たなチャレンジと、生命力に満ちた世界観をたっぷりご堪能ください。

『FASHION EXCLUSIVE』(光村推古書院)より



松岡モナ



斎藤工



桐谷美玲

©mika ninagawa

表参道ヒルズは開業当初から、吹抜け大階段や本館B3Fのイベントスペース「スペース オー」を展示空間として利用し、話題を集める旬な人物や新進気鋭のアーティスト、大物写真家などによる数々のアートイベントを開催してきました。また、表参道ヒルズ西館及び同潤館に位置する4つのギャラリーでも、多種多様の企画展を随時開催しています。今後も、より多くの人々に身近にアートを楽しんで頂けるよう最新のアートやカルチャーを世界に向けて発信して参ります。

【本件に関する報道関係の方のお問合せ先】

表参道ヒルズPR事務局: 浅井・森本・木暮

…TEL: 03-4574-6250 / FAX: 03-3265-5058 / MAIL: omotesandohills@ozma.co.jp

森ビル株式会社 表参道ヒルズ運営室 プロモーションチーム: 梅木…TEL: 03-3497-0292 / FAX: 03-3497-0318

## <開催概要> .....

- タイトル： 蜷川実花写真展 FASHION EXCLUSIVE  
期 間： 2016年4月23日(土)～5月8日(日)  
時 間： 11:00～21:00 ※4月24日(日)・5月1日(日)は～20:00、最終日5月8日(日)は～18:00  
場 所： 表参道ヒルズ 本館B3F スペース オー  
入 場： 無料  
内 容： ◇蜷川実花初となる、ファッションをテーマとした写真約85点を展示  
(全て写真集『FASHION EXCLUSIVE』の作品となります)  
◇蜷川実花オリジナルグッズ販売  
・《本展限定》クリアファイル  
・ポストカードブック、オリジナルステッカー、DECOチョコ など  
◇『FASHION EXCLUSIVE』等の書籍販売  
◇蜷川実花本人と豪華ゲストによるトークイベントを開催

- 主 催： 森ビル株式会社(表参道ヒルズ)  
企画・プロデュース： 後藤繁雄+G/P gallery  
協 力： 小山登美夫ギャラリー  
問合せ： 03-3497-0310 (総合インフォメーション)



蜷川実花 オリジナルグッズ



写真集『FASHION EXCLUSIVE』(光村推古書院)

### **蜷川実花 プロフィール**

写真家、映画監督。木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。映像作品も多く手がける。

2007年、初監督映画『さくらん』公開。2008年「蜷川実花展」が全国の美術館を巡回し、のべ18万人を動員。2010年、Rizzoli N.Y.から写真集を出版、世界各国で話題となる。2012年、監督映画『ヘルタースケルター』公開、22億円の興行収入を記録する。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事就任。

2016年3月、台湾の美術館、台北當代藝術館(MOCA Taipei)にて大規模な個展を開催予定。

〈公式HP〉 [www.ninamika.com](http://www.ninamika.com)



©mika ninagawa